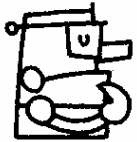


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

## 血液型は、どうやって調べるの



血液どうしを、いろいろ組み合わせを変えてまぜてみて、かたまるかどうかで分類しているのさ。

ふつう、血液を分類する方法でよく使われるのは、<sup>エービーオー</sup>A B O式とよばれるもので、人間の血液を4種類に分けることができます。

血液を試験管などにとって、そのまま置いておくと、血がかたまり、やがて上にとり明な液が残り、赤いかたまりが下にしずみます。このとり明な液を血清<sup>けっせい</sup>といいます。A型とB型の血液の血清を用意し、それぞれに調べたい血液を少しずつ入れていきます。それぞれがかたまるかどうかで、次のように分類できます。

A型血清	B型血清	血液型
	×	A型
×		B型
×	×	A B型
		O型

O型の血液は、A型、B型に入れても、かたまらないのね。



かたまらない ×かたまる

同じ血液型どうしをまぜても、血はかたまりません。しかし、ちがう血液型の血とまじると、血はかたまります。また、O型だけは、ほかの血液にまぜても、血はかたまりません。この性質がわかっていると、血液型がかんたんにわかります。

### 手術などで、血液を輸血するとき、血液型が大切

ちがう血液型の血を体内に入れてしまうと、血管の中で血がかたまり、血管がつまったり、血液がこわれ、全身にきけんなことが起こり、死んでしまうこともあります。そのため、血液型の検査は大切なものになります。

もっと知りたい人へ：「血液型がちがうものを輸血すると、どうなるの」も見てみよう。